

Lesson 22 「動詞①」

ねらい

一般動詞のつづりと発音を理解させる。

代名詞の目的格 me, her, him, them の意味を理解させる。

※単語編Book①Lesson 16のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L21 ① (051) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンプリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L22 ①④ (055) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンプリング) → 発音練習の順に行います。 宿題 (③の単語を書いてくること) を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L22 ①② (056) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人 (順番) とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「dance」 生徒「おどる」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「「おどる [食べる] のカードを示して」 Dance?」 生徒「Yes. Dance.[No. Eat.]」)
15分	L22 ② の 1 (eat lunch) ～ 5 (walk with her) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 語順が日本語と逆 (日本語は「…を～する」という語順だが、英語は「～する…を」) の語順になることを確認させます。 代名詞の目的格 me, her, him, them は初出なので、しっかり意味を説明します。 各生徒に、①④と②から緑色の枠の語【動詞】と青色の枠の語【代名詞】を選ばせて、〈動詞 + with か to + 代名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は 、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1のlunchをbreakfastにかえて「eat breakfast」と言い、生徒に「eat breakfast」を繰り返させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1～5の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・help with me[her] が発音 [発表] されたときは、「わたし [彼女] の手伝いをする」という意味になることを説明しましょう。 ・run[walk] to me[her] が発音 [発表] されたときは、「わたしのところへ走ってくる [歩いてくる]」「彼女のところへ走っていく [歩いていく]」という意味になると説明しましょう。
5分 (まとめ)	㉞ (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。 宿題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけること) を出します。	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・㉞ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

Lesson 23 「動詞②」

ねらい

一般動詞の語彙を増やし、一般動詞の使い方の理解を深める。

※単語編Book①Lesson 17のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L22 ①④ (055) と ⑤ (056) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (③の単語を書いたか音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L23 ①④ (057) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 発音練習の順に行います。 宿題 (③の単語を書くこと) を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L23 ①⑤ (058) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 余裕があれば 、定冠詞 the と不定冠詞 a の違いを説明します。 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人 (順番) とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「clean」 生徒「そうじする」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「[そうじする [しめる] のカードを示して] Clean?」 生徒「Yes. Clean.[No. Close.]」)
15分	L23 ② の 1 (speak Japanese) ～ 6 (come to my house) について、最初に先生が発音し、次に生徒が発音させます。 各生徒に、①④から水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈speak + 名詞〉か〈open the + 名詞〉か〈make a + 名詞〉か〈go to the + 名詞〉か〈come to my + 名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は 、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。 たとえば、先生が1の Japanese を English にかえて「speak English」と言い、生徒に「speak English」を繰り返させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1～6の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に動詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・speak cake 「ケーキを話す」のような不適切な組合せが発表されても、「おもしろいね!」と言うにとどめ、否定 [修正] しないようにしましょう。
5分 (まとめ)	㉔ (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。 宿題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけること) を出します。	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・㉔ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

※あるものについて言うとき、それがその場に1つしかない等の理由で、相手が「ああ、その○○のことだな」とわかるときに the をつけます。どれのことかわからないときや、わかってもらう必要のないとき等は a か an を使います。go to the store 「店へ行く」は、the が使われているので、「店」と言ったら相手もどの店のことかわかるという状況であることを暗示します。

Lesson 24 「名詞⑨」

ねらい

教科を表す語のつづりと発音を理解させる。
「～できる」という表現を理解させる。

※単語編Book①Lesson 18のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L23 ①④ (057) と ⑤ (058) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (③の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L24 ①④ (059) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 発音練習の順に行います。 宿題 (③の単語を書いてくること) を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L24 ①⑤ (060) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「English」 生徒「英語」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「[音楽 [体育] のカードを示して) Music?」 生徒「Yes. Music.[No. P.E.]」)
15分	L24 ②の1 (study math) ～4 (my favorite subject) について、最初に先生が発音し、次に生徒が発音させます。 各生徒に、最初に①④からオレンジ色か水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈study + 名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。次に、①④と⑤から緑色の枠の語【動詞】を選ばせて、〈can + 動詞 + English〉の形で発音させ、意味を確認させます。 canは初出なので、〈can + 動詞〉の形で使うことをしっかり説明します。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は 、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が4のsubjectをsportにかえて「my favorite sport」と言い、生徒に「my favorite sport」を繰り返させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1～4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・余裕があれば、〈can + 動詞 + Japanese〉の形でも発音させ、意味を確認させましょう。
5分 (まとめ)	㉞ (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。 宿題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけること) を出します。	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・㉞ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

Lesson 25 「あなたのお気に入りの教科は何ですか」

ねらい

好きな教科について伝えたり、たずねたり答えたりできるようにする。

※会話編Book①Lesson 18のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L24 ①④ (059) と ⑤ (060) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (③の単語を書いたかとお声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L25 ① (061) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 発音練習の順に行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・発音練習は一斉 (1文ずつ→1発言 [セリフ] ずつ) → グループ (半分サム役, 半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。
15分	L25 ② (062) と ③ (063) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し (②でサムのセリフ, ③でエイミーのセリフを言う), 次に生徒に行かせます (一斉)。何度か繰り返して暗記できたら, 先生と生徒, 隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。 arts and crafts 「図画工作」, interesting 「おもしろい」 は初出なので, しっかり意味を説明します。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを見ながら行わせ, 慣れてきたら, テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは, Sam のところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば, ペアワークを発表させましょう。
10分	L25 ④ (064) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 ①と②について, 発音練習をさせます。その後, 先生と生徒, 隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。 余裕があれば , 自分の好きな教科を答えさせます。 国語 Japanese 算数 math 英語 English 理科 science 社会 social studies 音楽 music 体育 P.E. 歴史 history 地理 geography 図画工作 arts and crafts 家庭科 home economics 道徳 moral education 習字 calligraphy 総合的な学習の時間 integrated studies	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ, 次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。 ・①と②の発音練習は一斉 (1文→1発言 [セリフ] → 対話) → グループ (半分サム役, 半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば, ペアワークを発表させましょう。 ・「好きな教科はない」という生徒には, 示された教科の中で一番のものを答えさせましょう。
5分 (まとめ)	㉞ (クイズ) に取り組みせ, 答え合わせをします。 答え合わせのときは, 最初に先生が選択肢を発音し, 次に生徒に発音させて, 意味を確認させます。 宿題 ①～④の音声を聞いて, 聞いた曜日に○をつけてくること	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は, L13 ② (p.30) に Oh, <u>do you like</u> dogs, Amy? が, L25 ②③に What is your favorite subject? と <u>My favorite subject is</u> arts and crafts. があることを教えて, 正解を見つけさせましょう。 ・㉞ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。